

四日市港における津波シミュレーション結果(暫定)【解説】

下図は満潮時に最大クラスの津波(暫定値)が襲来した際の霞ヶ浦南ふ頭地区周辺を図示したもの。
当津波シミュレーション結果では、当地区周辺における海岸堤防の越流は無く、また堤内地には浸水しないと算定されているが、液状化等により防波堤や海岸堤防が沈下し、堤内地へ浸水することもあり得る。

【設定条件】

- (1) 今回の津波シミュレーション結果は、資料3(P.1)の前提条件に基づき計算した。
- (2) 地殻変動による地盤の**隆起・沈降**を考慮しており、最終沈降量は地盤の隆起・沈降が収束したときの沈降量を示している。
- (3) 海域の解像度は**50m**とした。
- (4) 初期水位は**期望平均満潮位(H.W.L)**とした。
- (5) 防波堤及び防潮堤については地震、液状化、津波などによる**変形はない**ものと仮定した。

